参考資料

中央公民館　耐震診断結果等について

１　耐震診断調査結果

　（１）実施期間

　　平成25年７月２日～平成26年１月31日

　（２）耐震結果

　　　　　Iｓ値　最小値　0.22（３階）

１階　0.30～0.43　　Ｘ方向最小 0.37 - Ｙ方向最小 0.30

　　　　　　　　 ２階　0.49～1.19　　Ｘ方向最小 0.53 - Ｙ方向最小 0.49

　　　　　　　　 ３階　0.22～1.31　　Ｘ方向最小 0.68 - Ｙ方向最小 0.22

|  |
| --- |
| ○ 耐震診断　　　新耐震基準施行以前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上診断するもの。○ 新耐震基準　　　昭和56年の建築基準法の改正により施行された耐震基準。　　　新耐震基準の建物は、震度６強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能を有している。昭和56年６月１日以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用。○ Iｓ値（構造耐震指標）　　　耐震診断により、建物の耐震性能を表す指標。地震力に対する建物の強度と粘り強さを求める。　　　Iｓ値が大きいほど耐震性能が高くなり、値が0.6以上で耐震性能を満たす。　※ Iｓ値の目安（平成18年国土交通省告示）　　　Iｓ＜0.30　　　　：地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い　　　0.30≦Iｓ＜0.60　：地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある　　　0.60≦Iｓ　　　　：地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い |